

1 生物的防除法

(1) 干渉作用を利用した防除方法

本法は、あるウイルスに感染した植物は、後から侵入した同種または近縁種のウイルスに感染しにくいというウイルス相互間の干渉作用を利用した防除法で、弱毒ウイルスをあらかじめ接種しておくことにより、圃場での野生の強毒ウイルスの感染を抑制する防除法である。

ア キュービオ ZY-02(ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株水溶剤)を用いた、ズッキーニ黄斑モザイクウイルス (ZYMV) の感染によるキュウリモザイク病及び萎凋症の防除法

有効成分	接種方法			注意事項
	使用時期	使用回数	使用方法	
ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株 2002	穂木の子葉完全展開期又は接木苗の第1本葉完全展開期	1回	①水を加え 5 倍希釈液とし、固形物を完全に溶解する。 ②その後広口の容器に全量を移し、最終的に 25 倍希釈液とする。 ③この希釈液に添付のカーボランダムを加えてよく混ぜながら綿棒などを使い展開した一対の子葉又は第1本葉の全面に有傷接種する。	a ズッキーニ黄斑モザイクウイルスの感染によるモザイク病及び萎凋症の予防のみ効果がある。 b 接種により、生育期間中に一過性の軽微な退緑斑を生じることがあるが、その後の生育や収量に悪影響を及ぼすことはない。 c 有効成分である弱毒ウイルスが、人や動物に感染することはなく、健康に悪影響を及ぼすことはない。 d 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意する。